

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京田辺物流倉庫	階数	地上2F
建設地	京都府京田辺市大住濱5番1他	構造	S造
用途地域	工業専用地域、22条地域	平均居住人員	216人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	5,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2013年11月29日
敷地面積	34,458 m ²	作成者	村田 一也
建築面積	19,613 m ²	確認日	2013年12月2日
延床面積	39,039 m ²	確認者	中田 浩

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 91%

③上記+②以外のオンサイト手法 91%

④上記+オフサイト手法 91%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他
汎用性の高い倉庫として計画した。外周部に1方通行の車路計画と、2面のトラックパースによる入出荷を分ける事によりシンプルな動線計画とし、交通負荷も抑制出来る計画した。	特なし
Q1 室内環境 事務所エリアの外壁には断熱材を入れ、屋根は断熱性能のある二重葺し折板を採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 条例で定められた面積以上の緑地を確保した。
LR1 エネルギー 共用部・事務所エリアの照明はLED照明を採用や人感センサーにより、省エネルギー化を図った。	LR3 敷地外環境 駐車場・駐輪場の適切な計画により、交通負荷を抑制する。ガス給湯を避け電気温水器等を使用する事で、大気汚染の軽減を図った。
Q2 サービス性能 倉庫内積載荷重14,700N/m ² 梁下行こう6.5m確保し、汎用性の高い倉庫とした。	
LR2 資源・マテリアル 節水コマ等の採用など、省資源化に配慮した。既設井戸水利用による計画としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された